

農山漁村

いしすえ
は未来への礎



自由民主党参議院比例区(全国区)支部長
全国土地改良政治連盟顧問 全国水土里ネット会長会議顧問
元農林水産省農村振興局地域整備課長

宮崎まさお



自民党

宮崎まさお 検索

<http://miyazaki-noson.jp>

宮崎まさおのプロフィール

- 昭和38年12月3日、兵庫県神戸市北区山田町の農家に、3人兄弟(兄・妹)の二男として生まれる。(小学生の2年間は、茨城県水戸市で生活) 昭和54年4月、兵庫県立兵庫高等学校入学。(硬式テニス部キャプテン)
- 昭和58年4月、神戸大学農学部農業工学科に入学。近畿農政局五條吉野開拓建設事業所で学生実習。
- 昭和62年4月、農林水産省入省後、北陸農政局下田開拓事業所(新潟県)、在ベトナム日本国大使館二等書記官、東北農政局最上川下流農業水利事業所(山形県)、カンボジア水資源気象省派遣(JICA専門家)、熊本県農村計画・技術管理課長、農村振興局海外土地改良技術室長等を歴任。
- 平成29年12月、農林水産省農村振興局地域整備課長を最後に退職。
- 平成30年1月、「農山漁村は未来への礎」をモットーに政治活動を開始。

後援会入会討議資料

宮崎まさお後援会

〒105-0004 東京都港区新橋5丁目33-9グリーンビル3F
TEL.03(6432)0672 FAX.03(6432)0673

宮崎まさお 検索 <http://miyazaki-noson.jp>



実家は農家で、田んぼと山に囲まれて育ちました。当時は田植機もなく、集落内の農家が助け合って田植えを行い、鎌で稲を刈っていました。友だちと田んぼの作業にも参加しました。母の実家も同じ神戸市内の農家で、稲作だけでなく数十頭の乳牛を飼っており、夏休みは早起きして牛の餌やりや乳搾りを手伝ったものです。

こうした環境に囲まれ育った経験を大切に、私は、

皆様とともに、世界に誇るこの日本の農山漁村を、子どもたち孫たちに引き継げるよう、日本の未来への礎づくりに全力を尽くす覚悟です。

どうか皆様方のあたたかいご理解とご声援を心よりお願い申し上げます。

宮崎まさお

宮崎まさおは“農山漁村は未来への礎”^{いしずえ}を旗印に、「3つの目標」と「7つのチャレンジ」を約束します。

その実現のために、宮崎まさおは全国をくまなく回り、農山漁村に携わる皆さんの声に耳を傾け、地域と国政をつなぐパイプ役として汗を流し続けて参ります。

宮崎まさお **3**つの目標

**大切な
農地と水を守る!**

**農山漁村を
災害から守る!**

**美しい
農山漁村を守る!**

宮崎まさお **7**つのチャレンジ

土地改良の**安定的な 予算確保**にチャレンジ

国民の命とくらしは健全な農地と水により守られています。そのために必要な「土地改良予算」は徐々に回復していますが、まだ大幅に不足しています。このままでは、日本の未来が心配です。安全で安心な食料生産のため、安定的な予算確保に全力で取り組みます。

災害に強い農山漁村 づくりにチャレンジ

近年、地震や豪雨などの自然災害が急増しています。一方、排水ポンプやため池、水路などの老朽化が進んでおり、防災・減災対策は一刻の猶予も許されません。また、わが国には地すべり地帯や急傾斜地帯が数多くあり、迅速かつ的確な対策に全力で取り組みます。

農地や水を守り育てる 体制の強化にチャレンジ

農地や水などを守り育てる“ひと”の集まりである土地改良区は、日本が誇るべき組織です。また、多面的機能支払いの活動組織などの地域の皆さんもそれらを支えています。農地や水に関わる“ひと”の連携も含め、土地改良区の体制の強化に全力で取り組みます。

自然豊かな 美しい農山漁村の**継承** にチャレンジ

山から海に至る日本の“郷”^{さと}は、歴史と伝統文化に育まれた日本の宝です。しかし、中山間地域をはじめ、それらの多くが危機に瀕しています。農地と水、森林の保全や鳥獣害対策を通じ、自然豊かな美しい農山漁村を、未来の子供たちに引き継げるよう全力で取り組みます。

世界に日本の農林水産業と 農山漁村の**すばらしさ**の発信 にチャレンジ

約6年の海外生活で、日本の農林水産業と農山漁村のすばらしさを実感しました。世界にその魅力を発信し、GAP(農業生産工程管理)など国際規格への対応やインバウンドの取り込みなどにより、農山漁村の所得の向上に全力で取り組みます。

女性の視点を大切に した農山漁村政策の**展開**にチャレンジ

農山漁村の振興を図るためには、女性の力が欠かせません。今後の土地改良についても、女性の意見や行動力を活かした展開が重要です。女性の視点を重視した農山漁村政策の展開に全力で取り組みます。

農林水産業と農山漁村への 国民の**理解づくり**にチャレンジ

日本が持続的に成長していくためには、農山漁村が食と生活の拠点として健全に発展することが必要です。都市農業を含めた国内の農業・林業・水産業と農山漁村をもっと国民の身近なものとし、その振興を図るために国民の理解が得られるよう全力で取り組みます。

未来への
礎